



## 【第3回学校運営協議会】

令和3年2月19日（金）に第3回学校運営協議会を開催しました。始めに、各学年の取組を映像で紹介しました。その後、全体協議の前半では、学校評価アンケート結果の分析と各分掌の取組について説明し、意見交換を行いました。後半は、今年度の各ワーキンググループでの協議に基づいた成果と課題、次年度における学校運営協議会の取組と年間計画、次年度の協議会運営について話し合いました。

令和2年度 秋田県立矢島高等学校 第3回学校運営協議会議事録

1 日時・場所

令和3年2月19日(金) 午後2時30分から午後4時30分まで  
矢島高等学校 大会議室

2 出席者

(1) 運営委員

大井 建史 【天寿酒造株式会社代表取締役社長】  
庄司 嘉政 【元矢島高等学校PTA会長、TDK秋田(株)勤務】  
佐々木正純 【元矢島中学校PTA会長、法華宗寿慶寺住職】  
真坂 伸子 【矢島保育園園長】  
小松 茂樹 【矢島高等学校同窓会顧問】  
菅原 賢一 【矢島小支援地域本部コーディネーター】  
茂木 好文 【矢島高等学校同窓会長】  
佐藤真理子 【人権擁護委員】  
茂木 雅人 【元矢島中学校PTA会長、本海流坂之下番楽講中】  
佐々木 誠 【矢島高等学校長】

※ 松田訓委員、佐藤嘉徳委員、小野文彦委員は欠席

(2) 矢島高等学校〔事務局〕

木村実樹夫 【教頭】  
高田宇一郎 【事務長】  
菅原 一哉 【教諭】  
高橋 晃二 【教諭】  
湊 裕朗 【教諭】  
辻 由紀子 【教諭】  
木村ふさ子 【教諭】  
土田 伸也 【教諭】  
鎌田 勉 【教諭】  
尾留川 徹 【教諭】  
黒木 育子 【教諭】  
大石 敏孝 【教諭】  
佐藤 俊治 【教諭】

3 次第

(1) 開会 (事務局 木村教頭)

(2) 学校運営協議会会長あいさつ (大井会長)

今年度のまとめという形になります。難しい時代に入っているというか、議論はここ数年繰り返しているわけですが、これまでの成果がどの程度表れているかということは、いろいろ考えなければならぬと思います。何よりも喫緊の課題である生徒数、人口の減少というものが非常に大きい。矢島高校に応募する数、入学者の数が深刻なものがある。いろいろな部分を希望を持って語る部分と客観的に具体的にどうすればよいかというところを知恵を出し合いながら、更に詰めないといけないものがある。どうか忌憚りの無い御意見を出し合いながらよろしくお願いしたい。

(3) 校長あいさつ

本日は御出席いただきましてありがとうございます。今年度は新型コロナの影響で様々な制限がある中での学校運営でありましたが、3年生の進路につきましては25名全員決定することができました。部活動でもバドミントン女子がシングルスとダブルスの両方で全県新人優勝という本校初の快挙を達成する活躍がありました。この後の説明にもできますが、子どもを矢島高校に入学させてよかったかという問いに対して、例年以上に高評価を得ているなど、現在在籍している生徒の指導に関しては、地域の皆様の御協力もありませんして良い形で成果をあげていると感じています。更にこの指導を継続すると同時に学校存続のためにできることを考えて実行していきたいと考えています。現在令和3年度の高校入試が始まっています。入学者数の増加に大きな期待はできない状況に変わりはありませんが、昨年度4年ぶりに出願があった前期選抜に今年度も1名の出願があり合格しています。

また、一般選抜の志願状況も今日の時点で13名の出願となっています。決して十分な人数とは言えませんが、2次募集も含めて昨年以上の出願を期待しています。最後になりますが、3月1日の卒業式についてです。今回は来賓の参加は見送らせていただきますが、学校運営協議会の委員の皆様には来賓ではなく学校内の関係者ということで参加の御案内を差し上げております。来春の入学式については、現時点では運営協議会委員の皆様にも参加案内はしない予定でありますので御了解ください。本日は今年度の取組と学校評価についての御意見をいただきたい。また次年度の予定案について御確認をお願いしたいと思いますのでよろしくお願ひします。

(4) 出席者紹介 (事務局 木村教頭)

(5) 生徒の取組について

※各学年の取組を映像で紹介

(6) 協議 (進行 大井会長)

①学校評価アンケート結果について：木村教頭

※資料 令和2年度学校評価分析

協議内容は、「4 議事録」のとおり

②各分掌の取組について：各分掌主任

※資料 令和2年度分掌経営評価シート

協議内容は、「5 議事録」のとおり

③次年度の学校の取組について：WG 1 湊教諭

WG 2 菅原教諭

WG 3 高橋教諭

※資料 P 2～P 4

協議内容は、「6 議事録」のとおり

④次年度の協議会運営について：佐々木校長

・令和3年度の運営協議会年間計画について 資料

・委員改正案について 資料配付

数年に1回は運営委員のメンバーを変えることで、コミュニティ・スクールの取組が更に地域に広がるように活性化させたいため。

※改正案について異議無し

・中期ビジョン案について 資料

(7) 諸連絡

魁新報のYBPの記事について

中等教育資料の記事について

学校評価用紙の提出についてのお願い（事務局 木村教頭）

(8) 閉会（事務局 木村教頭）

#### 4 議事録

##### 【委員】

中高連携に関して特色が足りないという評価だが、どのような連携を望んでいるのか。一緒に行事をやるのが連携なのか。こうしたことをやればという具体的な取組があればいい。カルタ大会をやらなかったことが連携が足りないとなっているのか。今の時点で、中高連携という特色をどうすればよいと考えているか。

##### 【校長】

何をもって中高連携なのかと考えることが、学校運営協議会委員の方々に意見を出してもらいたい。行事をやることは見た目では連携していることはわかるが、行事をやるだけで無く、一緒にいることでそれぞれが意識して行動したり刺激し合うことで連携の意味があると思うが、それは外部にはあまり見えないと思う。それを外部の方や保護者にも伝えるにはどうしたらいいかということ、この会議で意見を出してもらえればと思う。

##### 【委員】

P T A会報の矢城からは、学校行事があったことは分かるが、普段の学校生活のなかで中学校との関係性は伝わっていない。コロナ禍であったが、普段の学校生活での中学校との関わりを記事にすることは矢城とか日新に載せることはできるのではないか。やっていないというより知らないという保護者は多いのではないか。

##### 【教諭】

連携校で考えると行事の交流も大事だと思うが、以前は授業の乗り入れもやってきた。生徒の人数も減って現在は実技教科が中心だ。お互いの設備を使用しながら授業を行っているのだが、地域の方々には見えづらいのだと思う。行事だけでなく普段の授業だとか部活動などで交流していることは知らせる必要があると感じた。国語に関しては、漢字検定を実施しているが、受験者が10人以上いないと実施できない。高校だけでは人数が足りず、中学校と一緒に実施しているので助かっている面がある。このような事も紹介していければ、中高の交流があることを外部に知らせることができる。

##### 【委員】

関係性を強くするというのは、他の高校と比べて何が違うかというところにある。先生方が取り組んでいる内容を発信して、こういう先生がいるなら矢島高校に行ってみたいと思わせるように企画する必要があるのではないか。そうするとなぜ矢島高校に行きたいかという子どもたちの感じが出てくると、親にも伝わっていくと思う。

改善点ということで、いじめやマナーについて職員からは多いが、保護者からは資格取得の指導の声が多い。親と職員とでは開きがある。整容等で問題がある生徒はいるのか。また、矢島高校に入学させて満足しているという評価はほぼ100%であるが、もっと資格を取らせたいというところが出ていたので、言葉は悪いが、資格を取るのとは就職することなのか、自分のために役に立つ英語検定のことなのかどっちか分からないが、もっとや

ってもらっていいという人と思ったより子どもたちが頑張っていると思った人がなんとなく一致していないがそういう部分が表れている評価なのかと想像で感じた。なぜ、整容関係で指導しなければならないかという原因を教えてもらいたい。手厚い指導ということをお願いしてきたが、もっと資格をとという声はどういうことであるか。

#### 【校長】

いじめと整容について職員が問題であるとしたことについては、それが問題だというよりはゼロではない。いじめがゼロではないし、整容を直さなければならないという生徒が全くいないというわけではない。その他の点は我々がやろうとしていることが出来ているので、100に近づきたい。就職する生徒が多いし、専門学校に行ってもいずれ就職する。社会に出たときに必要な能力、資質というのは整容面や基本的な生活習慣が重要だと職員は考えているのでしっかりさせたいということである。決してものすごく悪くて問題になっている状況ではない。

資格については、そのように感じている保護者に聞いてみないとわからないが、アンケートを取って学校に望むことといえば、すべての保護者ではないと思うが、進路を決定するというのが大きな願いだと思う。就職や進学を決定するためにはやはり資格を持っているほうがよいと思うのは普通ではないかと思う。そうしたときに資格が取れる情報が見えてない部分があるのではないかという反省点はある。学校としては取れる資格という情報はもっと周知していきたいと考えている。保護者が資格を取りたいと回答が出てくるのは、こういう質問をした場合、それを選ぶのが多いということもあると考える。

#### 【委員】

少ない生徒に寄り添う指導をということをこの2年間のワーキンググループ等で協議してきたので、そういう意味では、資格取得について保護者からの評価が出てほしくなかった。

#### 【委員】

全県と矢島高校の学習状況評価の中身の分析はしているか。矢島高校の授業がわかりやすいといった生徒の学校に対する評価を学校説明会等でアピールできないか。

#### 【教頭】

学習状況調査については細かな分析はしていない。授業アンケートを学校で実施しているが、授業がわかってきたとか授業に取り組む姿勢については、アンケートを取っていくうちにだんだん良くなってきている。学習時間についても全県より多い時間となっているのは、各学年で毎日、あるいは週末ごとに課題を出したりしていることが評価につながっているのではと分析している。いろいろな場面で生徒の頑張りを説明できればと考えている。

## 5 議事録

### 【委員】

先生方の日頃の御指導ありがたいと思っている。学校評価も部分を見ればマイナスもあるが、安定した評価になっていると思うので大変安心した。

整容指導やいじめに関しては、先生方も保護者も昨年度と変わらない評価である。なのに来年度も基本的な生活習慣の確立を第一にあげている。また、各学年部の評価を聞いたところ、資格指導については各学年しっかり指導し3年生については資格取得者も増えている。

なのに、保護者からはもっと求められている。何か職員と保護者との評価が矛盾しているように感じる。もしかしたら、資格取得に関しては保護者が資格取得一覧表をよく見ていなかったりして広報活動が不足しているために評価が下がっているのではないだろうか。基本的な生活習慣の確立というのは、小学校中学校も同じだ。これが確立できれば、成績も上がるし生徒指導も良くなるし底上げできる。先生方が不足を感じている基本的な生活習慣というのは何でしょうか。

### 【校長】

職員が生活習慣をあげるというのは、おそらく今後も毎年1位になると思う。それだけそこが一番大事だと思っているからです。高校としての生活習慣というのは、社会人としての基本的な生活習慣と捉えていただければと思う。そこが整っていれば社会人としてうまくやっていける。そこが整っていないと何をどんなに頑張っても一人前になれないと思っている。

資格取得に関しては、広報についてはまだまだやれるところはあると思っているので工夫したい。保護者に、「どれを望みますか」聞いた場合、資格取得というのは答えやすいというのがあると思う。

### 【委員】

先ほど校長先生が、いじめも全く無いわけでない。整容に関しても100%に近づけたというお話があった。これについて一部の生徒がいるかもしれないが、今後も手厚い指導をお願いしたい。

### 【委員】

分掌評価について、職員の評価はすべてA評価である。普段学校にいない委員としては、評価しづらいというのが正直なところである。

### 【校長】

ここにある資料と、今日の協議の内容を踏まえてA、B、Cの評価を必ずお願いしたい。意見がある場合は記入する欄もあるので、異議があれば御記入いただきたい。

【委員】

A マイナス、B プラスといった評価でもよいか。

【佐々木校長】

そうした評価でも構わない。

【委員】

この様式は、県からの指定の様式か。

【校長】

秋田型の評価シートとなっており、A、B、Cの評価となっている。

## 6 議事録

【委員】

百宅地区について、住宅等解体していないか。そのまま沈めるのではないらしい。

【教諭】

市の事業で、百宅里歩きという事業が来年度もあるようなので、それに絡めてできればと考えている。

【委員】

生徒一人一人にタブレットが配付されると思うが、コロナ禍であるので社会ではWEB会議が主な現状である。ZOOMを使いこなすといったことは社会に出る前に体験させておきたい。資格取得だけでなく、こうしたことをスピーディに体験させることは社会に出るから役立つし重要であると思う。

生徒が来ないから学校の役目が低いのではなくて、来るような活動をしていないから生徒が来ないのだという考え方もある。物を売ると同じ。売れないからダメなのか、売ろうとしなかったから売れなかったのか。考え方が180度違う。それをどういうふうにしてPRして客または受検生を増やしていくかというように頭の転換をしていかないと、今の現状を打破するのはなかなか難しいと思っている。



【WG1（ボランティア・生徒会）】

（成果）

◎新型コロナウイルスのためにボランティア活動予定のほとんどが中止になったが、花植えボランティアや小学校ひまわりプロジェクトへの協力などができた。また、授業での校外活動の途中で歩道周辺のゴミ拾いをするなど、小さな活動を行うことが出来た。

（課題）

- ①コロナ禍が続くなかでどのような活動ができるか。
- ②ボランティア活動を通して生徒の自己有用感を育成するために何ができるか。
- ③学校存続・活性化のために地域との交流・連携を深める取組はできないか。

（次年度の取組）

- ①生徒減への対応として新しいことには手をださないという方針だったが、従来の活動ができない状況が続くのなら、今後できることを生徒たちに考えさせて新たな取組も行う。
  - \*除雪ボランティアは、必要があるなら、学年ごとや授業時間外など、全体でやらなくても出来ることを検討してみる。
- ②ボランティア部と保育園との交流は以前からもあるが、今後保育園との交流を増やせないか。園児との交流を深めるなかで、生徒たちは、自分が人の役に立つ経験をして、自己有用感を持てることが期待できる。
  - \*保育園で避難訓練を行う際に高校生が出向き、ボランティアとして訓練に参加協力する。（保育園も、避難訓練には人手が沢山必要になるため、協力してもらえると有り難い。）
  - \*除雪への協力、かまくら作りや滑り台作り、合同のなべっこなどもできると思う。
- ③地域全体（保・小・中・高・町民）の防災訓練について検討する。
  - \*一斉に実施するのは消防署や警察署の人出が足りなくなると思われるので、難しい。
  - \*秋田県の防災訓練が地域に当たった際に、そこに参加するという方法もある。そこでのノウハウを、矢島地域だけで実施する場合の参考にしてやってみる。
  - \*市（矢島支所）の防災担当者と連携して、地域防災訓練の日（期間）を設けて、各校で町民参加型の防災訓練を行うことから始めるということも考えられる。
  - \*町民参加型にするには、各校を「避難場所」とする地域住民に、防災訓練への参加を呼びかけ、町内会と連携することが必要になる。
  - \*上記②のように保育園との協力はできると思われる。

## 【WG 2（地域貢献・地域活性化）】

### （成果）

- ◎新型コロナウイルスの影響で例年のような活動はできなかったが、自宅で長く過ごす子ども達のために塗り絵や絵本などを制作する等、社会貢献活動を中心に活動を継続することができた。
- ◎塗り絵や絵本には地元の産業や民話に関する内容を盛り込み、子ども達の地元への愛着が高まるように工夫して制作した。

### （課題）

- ①YBPの活動内容をどうするか。来年度の状況によっては今年のように販売活動が難しい場合もあるので、様々な状況を想定して活動する必要がある。
- ②YBPの活動を広く知ってもらうにはPR活動が欠かせない。ホームページや学校の通信（矢城）の他に素早く情報を伝える手段も必要。  
（例 NNKの取材や放送時間等の情報がその日のうちに伝わるような情報伝達手段）

### （次年度の取組）

- ①＊販路の確保
  - ・従来のイベントでの販売形式以外の方法を考える。  
（テイクアウト・通信販売・受注生産等）
  - ・学校運営協議会委員の協力を仰ぎながら、販売店舗・手段の拡充を図る。  
（天寿酒造発行「んめものや」への掲載等）
- ②＊活動内容の検討
  - ・コロナ禍の中でどのような活動を行っていくか、引き続き検討する。  
（例年どおりの形式、今年度のような形式、あるいは2つの組み合わせ等）
  - ・今まで開発してきた商品の中で生かせるものは残していくようにする。  
（せっかく開発した商品なので、1、2回の販売で新商品に移行するのではなく、それを改良しながらよりよい商品へ昇華させる形で下級生へ引き継ぐ。）
- ③＊PR活動を充実させる
  - ・新聞社やテレビ局へ積極的に情報を提供し、取材により知名度を上げる。
  - ・SNSを積極的に活用する。  
（ツイッター、インスタグラムなど若者がよく利用するものを中心に）
  - ・情報発信のスピードを上げる。

### （提言）

- ICT活用やツイッターインスタグラムなどのSNSによる情報発信・運営に関して、アドバイザーを招くことは可能か検討してほしい。  
（継続的に協力してくれる人）

### 【WG3（伝統文化継承保存・自然環境保護）】

#### （成果）

- ◎番楽については、現3年生が「お手本映像」を作成、笛については指遣いを記したものを作成して練習に活用でき、2年生が矢高祭で実演発表することができた。チャップや太鼓用座布団を購入し、物品の充実も図った。
- ◎鳥海ダムに関しては、11月4日（水）に1年生と3年生文理の生徒を対象に「鳥海ダム建設事業の概要」をテーマに鳥海ダム工事事務所の遠藤俊彦様に講話を実施していただいた。学んだことを基にレポートを作成し、文化祭で展示発表を行った。

#### （課題）

- ①校内における伝承形態の確立
- ②湖底に沈む場所を直接見学できないか

#### （次年度の取組）

- ①＊番楽の実演は引き続き「鳥海探究Ⅱ」で行いつつ、校内で伝承していくための手段を考える
  - ＊「まいーれ」定期公演が再開次第、鑑賞の計画を立てる
- ②＊ダムについての学習は引き続き1年次の必修修科目「科学と人間生活」の中で扱う。
  - ＊地域の方の講話を実施する場合は、人選等を学校運営協議会にお願いしたい。
  - ＊学習内容を最終的にレポート等にまとめたものを、矢高祭で展示する。
  - ＊次期学習指導要領の必修修科目「地理総合」でも防災に関する内容が予定されているので、将来的には分野を分けて2科目で扱うことも考えられる。

#### （提言）

- 番楽の伝承について、1年生で知り2年生で実演し、3年生が指導する形態を「鳥海探究」の計画に盛り込めないか。
- 湖底に沈む場所を見学させて欲しい（今しかできないことなので）。

### 【広報活動について】

#### （提言）

- パンフレットについては、本校独自の特色を出して欲しい。また、矢島中学生の意見を聞いて改良してはどうか。
- 「日新」については、紙面で定期的に配付して欲しい。インターネットに疎い人たちも多いので、継続していただきたい。

（その他）番楽「お手本映像」及び今年の文化祭の発表を観たい。

令和2年度 秋田県立矢島高等学校 学校運営協議会年間計画

月	学校運営協議会・WG	学校
4		・27日(月)運営協議会委員候補の略歴等を県教委に送付
5		・12日(火)運営協議会委員候補決定(P T A 総会后) ・22日(金)委員任命書を県教委から受領
6	(委員任命書の受領を受けて) ・2日(火)第1回学校運営協議会(書面会議) 資料送付 ・任命書交付 ・会長及び副会長 ・学校経営方針 ・学校運営協議会年間計画等の提案 ・第1回学校運営協議会ワーキング・グループ(WG)資料 ・12日(金)第1回学校運営協議会(書面会議) 協議事項承認 ・15日(月)第1回学校運営協議会(書面会議) 結果送付	*1日(月)第1回C S 校内委員会(第1回に向けて) ◎2日(火)第1回学校運営委員会に向けての打合せ(会長、校長、教頭等)
7	・各WG毎に委員会を開催(代表者選出と日程調整、協議) 21日(火)WG2、WG3 31日(金)WG1	第2回CS校内委員会 *13(月)CS校内委員会(WGに向けて) WG2、WG3 *16(木)CS校内委員会(WGに向けて) WG1
8		
9		
10	・29日(木)第2回学校運営協議会 ・各ワーキンググループの協議内容の報告 ・各WG協議(熟議:学校の活性化や在り方等について)・報告 ・第3回学校運営協議会の内容確認	*9日(金)第3回C S 校内委員会(第2回に向けて) ◎21日(水)第2回学校運営委員会に向けての打合せ(会長、校長、教頭)
11		*16日(月)第4回C S 校内委員会(次回WGの協議内容の確認等について)
12	各WG毎に ・取組、評価、課題、次年度への提言をまとめる 4日(金)WG3 11日(金)WG2 17日(木)WG1	
1		*18日(月)第5回C S 校内委員会(第3回に向けて) ・WGの協議内容をもとに、今年度の取組、評価、課題、次年度への提言をまとめる ・次年度の協議会運営案を作成 ・25日(月)分掌経営評価シート、学校評価アンケート等を委員に送付 ☆第2回秋田県C S 連絡協議会 中止
2	19日(金)第3回学校運営協議会 ・学校評価について ・次年度の取組と協議会運営について	*9日(火)第3回学校運営委員会に向けての打合せ(会長、副会長、校長、教頭等)
3		* (下旬) 分掌経営評価シートを運営協議会委員に送付

令和3年度 秋田県立矢島高等学校 学校運営協議会年間計画（案）

月	学校運営協議会・WG	学校
4		・運営協議会委員候補決定（PTA総会后）
5		・運営協議会委員候補の略歴等を県教委に送付 ・委員任命書を県教委から受領（受付日）
6	（委員任命書の受領を受けて） 第1回学校運営協議会 ・授業参観 ・任命書交付 ・会長及び副会長選出 ・学校経営方針説明、中期ビジョン説明、承認 ・学校運営協議会年間計画説明、承認 ・各WG(代表者選出と1回目の日程調整)	*CS校内委員会①（第1回に向けて） ◎第1回学校運営委員会に向けての打合せ（会長、校長、教頭）
7	各WG毎に ・協議 ・必要に応じて視察	*CS校内委員会②（WGに向けて）
8		
9		
10	第2回学校運営協議会 ・各WGの協議内容を全体で共有 ・各WGの協議	*CS校内委員会③（第2回に向けて） ◎第2回学校運営委員会に向けての打合せ（会長、校長、教頭）
11		*CS校内委員会④（WGの協議内容の確認と課題について）
12	各WG毎に ・取組、評価、課題、次年度への提言をまとめる	
1		・WGの協議内容をもとに、今年度の取組、評価、課題、次年度への提言をまとめる ・次年度の協議会運営案を作成 *CS校内委員会⑤第3回に向けて ・（下旬）分掌経営評価シート、学校評価アンケート等を委員に送付 ☆第2回秋田県CS連絡協議会 ◎第3回学校運営委員会に向けての打合せ（会長、副会長、校長、教頭）
2	第3回学校運営協議会 ・次年度の取組と協議会運営について ・学校評価について	
3		*年度末評価一覧を運営協議会委員に送付 *運営状況及び学校評価結果を県教育委員会に報告（学校教育法施行規則第68条） （秋田県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第14条）